

岩手研友報

No.220

編集・発行

岩手県公立小中学校

事務職員研究協議会

総務部

令和6年7月25日

ごあいさつ

岩手県公立小中学校事務職員研究協議会

会 長 下 村 隆



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より岩手県事務研の事業にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

また、今年度は、盛岡市において10月10日から10月11日の2日間の日程で開催する第25回東北地区公立小中学校事務研究大会に向けて、県内各支部及び事務職員の皆様、関係各位の皆様にご支援をいただいておりますことに併せて御礼申し上げます。

さて、今、学校では、社会の急激な変化に対応し、予測不能な未来社会を自立的に生きぬくことができる子どもの育成のための改善や充実の対策が求められる等、学校教育が抱える課題は複雑・困難化しています。

このような中、私たち学校事務職員には「専門性を活かした校務運営への参画」が求められていますが、学校と同様に学校事務分野も業務の複雑・困難化が進行しているため、その役割を果たすための力量形成に十分に取り組むことが難しい状況となっていることが残念でなりません。

ここで今一度意識したいことが、平成29年に私たち学校事務職員の職務が「事務をつかさどる」と改正されたことです。業務の正確性や効率化を目的とした「従事する学校事務」を追い求めるのではなく、教育的素養を有する行政職員である学校事務職員の専門性を活かした「つかさどる学校事務」を探求することが重要だと考えています。

業務の専門性を高めるための力量形成を効果的に進める手段の一つとして、私たちの事務研活動があります。探求（研修・研究・実践）を繰り返すことで、より広い視野や考え方、エビデンスに裏づけられた実践力が身につき、業務をつかさどる力量が形成されることで校務運営への参画の度合いが深まっていきます。

今年度の本会の事業の柱でもある第25回東北大会は12年ぶりの岩手県開催であり、東北各県の研究実践の成果と課題に触れる貴重な機会となりますので、多くの皆様に参加していただき、自己研鑽にお役立ていただけることを期待しております。

最後になりますが、岩手県事務研が岩手の学校事務職員の専門職としての力量を高めるための学び場となりますように、役員一同、事業を推進して参りますので、皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

令和6年度 岩手県公立小中学校事務職員研究協議会総会

令和6年度の総会は、昨年度に引き続き書面表決により実施し、総会議案書にある令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画を提案し、承認いただきました。

第1回支部代表者会 令和6年6月21日(金) 会場:盛岡市都南公民館

6月21日に行われた支部代表者会では、令和6年度事業計画について、総務部・研修部・研究部より具体的な説明があり、各支部代表者との協議が活発に行われました。

そのなかで、令和9年度の「全国大会兼東北大会」と「県大会」、令和10年度以降の「東北大会」と「県大会」の重複開催をさけるために現計画の一部変更について、今後は評議員会で審議することとされました。

各支部からは、支部の活動概要の発表をいただき、情報交換が行われました。県事務研・地区事務研や共同学校事務室などの組織があるなかで、事務研でしかできないことを模索していく必要があるのではないかと、各組織の役割を考える時期ではないかと、などが話されました。

次回、第2回支部代表者会は、令和6年12月6日(金)開催予定です。

《《 令和6年度各支部の研究テーマ 》》 支部代表者会各支部資料より

- (盛岡)「時代に即応した学校事務の在り方」ーいわてのグランドデザインを軸にしてー
- (岩手) 学校の役に立つ事務職員になるための研究に取り組む
- (紫波)「事務をつかさどる」を具体化する事務実践、事務改善を目指して
～町単位の課題解決から学校経営参画と人材育成(OJT)について考える～
- (花巻)「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」
(子どもの未来が明るいものであるように、わたしたち事務職員の仕事はそのまま子どもの成長の一端を担っているので貢献したいという思いからこのテーマを設定した)
- (和賀)(1)学校全体の事務機能を組織的に向上させるための人材育成と協働体制のあり方を探る。
(2)共同実施組織と連携し、学校事務における課題解決及び業務改善を図る。
(3)これまでの研究実践の成果を継承し発展させる方策を探る。
- (遠野) 業務改善(学校事務の各種システムを構築し、活用と定着による標準化をめざす)
- (胆江)「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現をめざして」
～子どもの笑顔があふれる学校づくり～
- (一関) いわいのグランドデザイン ～みんながやってる実効策～
- (気仙) ①令和9年度県研究大会発表に向けた研究→大船渡市で実践している「学校集金」を軸に、陸前高田市、住田町での取り組みの実態分析や今後の気仙地区内での「学校集金」の統一化を模索し、課題の把握と解決のための実践及び検証を行う
②市町毎による時事の問題解決と情報交換による班別研修
- (釜石)「できる!財務マネジメント」～4つの視点から変える学校財務～
時代の変化に対応した新しい教育を効果的に進めるためには、適切な財務マネジメントが重要であり、それを研究することにより、より良い学びの環境を整えることができると考えている。
- (下閉伊) 創造しよう、学校経営における学校事務を
- (九戸) 職務領域を意識した研究
- (二戸)「学校事務経営計画の策定と活用」への継続取組み(3年目)

第 25 回東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会実行委員会

7月5日（金）アイーナ 803 会議室において、第9回実行委員会が行われました。

各部の進捗状況、今後の予定を協議、全体での確認を行いました。

7月下旬には全体進行を担当する司会者研修、8月には分科会発表者・司会者等打合せ会、9月には会場（マリオス）打合せ会が計画されております。

「第25回東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会」兼「第4回岩手県公立小中学校事務全体研修会」の大会参加・宿泊・お弁当のお申込みのご案内を会員皆様のお手元にお届けしました。岩手県の会員におかれましても、大会受付Webシステム「Apollon」にてお申し込みください。

申込ページ URL : <https://va.apollon.nta.co.jp/jimukeniwate/>

主催者の一員でもある私達がそれぞれの場面で、できることを考え行動し、東北大会岩手大会を盛り上げましょう。その先にはきっと、笑顔が広がるいい学校がみえてくることを信じています。



東北地区公立小中学校事務職員研究協議会総会 令和6年7月5日（金）会場：アイーナ

7月5日（金）午後から、東北事務研総会が開催されました。

令和5年度事業報告、会計決算報告の承認、令和6年度役員選出、事務局員の委嘱、事業計画案、予算書案、功労者表彰について協議、承認されました。

総会に引き続き、理事会及び研究担当者会が開催され、10月の東北大会岩手大会、令和9年度全国大会宮城大会（兼東北大会）について交流、各県情報交換を行いました。



岩手県公立小中学校事務職員研究協議会 理事・役員紹介（敬称略）

（1）総務部理事

盛岡	川代	まどか	（盛岡市立杜陵小学校）	会議担当
盛岡	細川	美樹	（盛岡市立大慈寺小学校）	会議担当
紫波	工藤	優花	（紫波町立西の杜小学校）	会議担当
二戸	竹田	悠馬	（二戸市立石切所小学校）	広報担当
二戸	小野寺	奈穂	（二戸市立福岡中学校）	広報担当
盛岡	上路	克彦	（盛岡市立仁王小学校）	資料センター

（2）研修部理事

盛岡	鈴木	聡	（盛岡市立渋民小学校）	
岩手	千葉	拓也	（滝沢市立鶴飼小学校）	
紫波	佐藤	哲司	（紫波町立紫波第一中学校）	
花巻	本波	龍海	（花巻市立南城中学校）	
和賀	及川	敬	（北上市立和賀東中学校）	
遠野	佐藤	佳樹	（遠野市立宮守小学校）	
胆江	畠山	千春	（奥州市立江刺第一中学校）	

一 関	阿 部	理 恵 子	(一関市立東山小学校)
気 仙	川 畑	萌	(大船渡市立東朋中学校)
釜 石	山 崎	美 香	(釜石市立鶴住居小学校)
下 閉伊	相 馬	由美子	(田野畑村立田野畑中学校)
九 戸	後 藤	優 也	(野田村立野田小学校)
二 戸	佐 藤	匡	(一戸町立一戸小学校)



(3) 研究部理事

一 関	岩 元	優 子	(一関市立中里小学校)
釜 石	阿 部	広 道	(釜石市立甲子小学校)
九 戸	柳 杭田	冬 香	(久慈市立長内中学校)

(4) 令和6年度 役員

役 職	担 当	氏 名	支 部	勤 務 校
会 長		下 村 隆		洋野町立種市中学校
副 会 長	(研修総括)	石 川 力 行		岩手町立沼宮内中学校
副 会 長	(総務総括)	林 佳奈子		盛岡市立飯岡中学校
副 会 長	(研究総括)	清水辺 誠		花巻市立矢沢小学校
常任理事	総務部長	八重樫 綾 子	遠 野	遠野市立綾織小学校
常任理事	総務部財務担当	宇 部 憲 子	盛 岡	盛岡市立見前中学校
常任理事	総務部広報担当	菊 池 千恵子	二 戸	二戸市立福岡中学校
常任理事	研修部長	佐 藤 謙 一	盛 岡	盛岡市立仙北中学校
常任理事	研修部大会運営担当	藤 森 備 子	盛 岡	盛岡市立桜城小学校
常任理事	研修部大会財務担当	小野出 未 来	気 仙	陸前高田市立高田第一中学校
常任理事	研究部長	高 瀬 史 明	盛 岡	盛岡市立黒石野中学校
常任理事	研究部研究推進	菊 池 裕 太	胆 江	奥州市立佐倉河小学校
常任理事	研究部調査担当	畑 村 汰 槇	下 閉伊	宮古市立崎山中学校
監 事		長 坂 征 子	岩 手	雫石町立御所小学校
監 事		千 葉 千 枝	一 関	一関市立桜町中学校
監 事		吉 田 秋 子	九 戸	洋野町立種市小学校

※顧問 菅原 信 (花巻市立太田小学校・岩手県公立小中学校事務職員研究協議会前会長)

※統合型校務支援システム検討ワーキンググループ構成員 大下 尚人 (軽米町立軽米中学校)



編集後記

令和6年度の1学期が終了する時期になりました。県事務研では、東北大会岩手大会に向けまっしぐら。きめ細やかな計画と再考を重ね、10月10日の開会をめざし現在進行形で取り組んでおります。

当日は東北各県の学校事務の研究実践の交流、学校における組織マネジメントの確立と研究を目的に実り多い研究大会になることを願うばかりです。

研究大会2日目の天津木村氏の講演は、岩手の沢山の宝物をお話いただき、新しい発見と笑いでいっぱいになることでしょう。

この大会、きっと、ええコトたくさんあると思います！